

初動調査報告

東北大学災害制御研究センター 佐藤 健

わずかに充電できたので、仙台市太白区長町南小学校区、長町小学校区を中心とした建物被害のようすを報告します。



写真左：地震発生当日の東北大学川内キャンパス前。青葉山キャンパス方面から帰宅する学生らのようす。写真右：同日，仙台国際センター前のようす。信号機がとまっています。



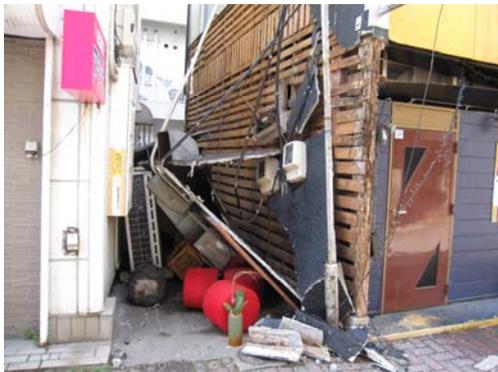
3 月 12 日午前撮影した長町南小学校区（泉崎地区）のようす。低地部ですが，最も丘陵部に近く，津波被害を受けていない地域です。建築年代が新しい建物が多く，構造的に壊滅的な状況ではありません。



3 月 12 日午前撮影した長町南小学校区（泉崎地区）にある自宅（SRC 造 8 階建ての 8 階）のようす。室内散乱はひどいですが，冷蔵庫は転倒していません。低い家具（写真左）の移動距離は 40cm 程度。



仙台南郵便局（太白区长町7丁目）のRC造の構造被害。



長町小学校区の木造モルタル建物の被害例。建築年代が比較的古い建物のようにです。長町小学校区は、1978年宮城県沖地震で全壊した木造住宅が最も多く発生した場所ですが、住民の方のお話では、振動による被害規模は前回の方が大きかったとのことでした。



長町小学校区ブロック塀、石塀の倒壊被害の例。ただし、エリア一帯で倒壊率は1978年宮城県沖地震と比較して高くないようです。のきなみに写真のような状況ではありませんでした。

以上、学生の安否確認や大学支援などのため、大学と自宅の往復で撮影した限定的な写真です。津波被害を受けているかもしれない本学の学生が心配な状況ですが、貴重な電源を確保できたので、わずかながら報告させて頂きました。